
**秩序あるインバウンド観光推進委員会
第1弾は秩父エリアを舞台に、著名インフルエンサーが
持続可能な観光を世界へ発信
実施報告書**

2025年4月25日

特定非営利活動法人 公共政策調査機構
秩序あるインバウンド観光推進委員会

実施概要

【活動内容】

2025年4月1日から4月3日にかけて、日本在住の中国語圏インフルエンサー2名が秩父を訪問し、海外向けに魅力を発信する取材を実施

【取材案内状/リリースの配信】

- ・ 2025年3月25日（火）14：00

”【取材案内状】 著名インフルエンサーによる新たなインバウンド観光の海外向発信活動が始動”秩序ある
”
”ツーリズムにより持続可能な地域社会の確立へ！

- ・ 2025年3月31日（月）14：00

【プレスリリース】 秩序あるインバウンド観光推進委員会が始動！第1弾は秩父エリアを舞台に、著名イン
”フ
”ルエンサーが持続可能な観光を世界へ発信

- ・ 2025年4月8日（火）14：00

【プレスリリース】 外国人インフルエンサーが体験した「秩父の魅力」を世界へ発信！秩序あるインバ
”ウンド
”観光推進委員会 第1弾プロジェクトが成功裏に終了

- ・ 2025年4月8日（火）15：00

【プレスリリース】 秩序あるインバウンド観光推進委員会がキャンペーン第1弾の秩父市・北堀市長を表
”敬訪問

【その他】

PRコンサルティング、メディアリスト作成、プレスリリース配信、
メディアプロモート活動（個別アプローチ）
メディア問い合わせ対応、報告書作成

【活動内容】

2025年4月1日から4月3日にかけて、日本在住の著名な中国語圏インフルエンサー2名が秩父エリアを訪れ、秩父の魅力をSNS等を通じて海外向けに発信するための取材活動を行いました。

1日目（4月1日）

西武秩父駅に到着後、秩父市公式イメージキャラクター「ポテくまくん」の歓迎を受け、和やかな雰囲気です取材活動をスタート。そこから秩父鉄道で長瀬エリアを訪れ、宝登山ロープウェイに乗車。夕方は老舗旅館・長生館内のレストラン「岩ざくら」にて、長瀬渓谷を一望できる開放感のある空間で、名物のぼたん鍋を堪能しました。

2日目（4月2日）

午前中は「ちちぶ銘仙館」を訪問。秩父織物や銘仙に関する貴重な資料を見学し、館内の体験工房では型染め体験に挑戦しました。その後、秩父市内のレトロな街並みを散策し、スイーツ店や喫茶店を取材。午後からは「秩父フルーツファーム」でいちご狩りを体験し、様々なコンテストで最高金賞を獲得するなど注目の埼玉県オリジナル品種「べにたま」の魅力を堪能しました。夕方には人気店で「秩父ホルモン」を味わい、秩父地域の食文化の魅力を体感しました。

3日目（4月3日）

最終日は体験型観光農園「秩父ファームステイ」を訪問。オリジナルハーブオイル作りやアーモンドの殻割り体験を通して、秩父の自然の恵みに触れました。また、秩父地元の食材や自園産のフルーツを使用した様々な料理も楽しみました。

秩父市・北堀市長を表敬訪問（4月7日）

秩序あるインバウンド観光推進委員会は秩父市役所を訪問し、北堀篤市長を表敬しました。当日は、当機構の池田健三郎理事長、理事の大淵愛子氏、アドバイザー企業XM株式会社の関係者らが出席し、「秩序あるインバウンド観光」の推進と持続可能な地域観光の実現、著名インフルエンサーを活用した情報発信について、市長と意見交換を行いました。

取材案内状

取材のご案内



2025年3月25日

報道関係各位

特定非営利活動法人 公共政策調査機構
秩序あるインバウンド観光推進委員会

【2025年4月1日（火）取材のご案内】

著名インフルエンサーによる新たなインバウンド観光の海外発信活動が始動

“秩序ある”ツーリズムにより持続可能な地域社会の確立へ！

今般、特定非営利活動法人公共政策調査機構（東京都港区、理事長＝池田健三郎）は、2025年の新規活動として、「秩序あるインバウンド観光推進委員会」（以下、委員会と表記）を立ち上げました。

この委員会は、活況を呈する海外インバウンド観光について、単なる量的拡大のみならずその質的向上の重要性に鑑み、とくに観光資源を有する日本の各地域において、“秩序ある”インバウンド観光を推進する情報発信を通じた啓発を図ることで、来訪外国人の地域理解の深化および円滑な人的交流の実現を企図しています。こうしたことにより、オーバーツーリズム問題等に代表されるインバウンド・ツーリズムの課題解決（情報不足や慣習のギャップに起因するトラブルの未然防止等）に寄与することで、円滑な国際交流と持続可能な地域社会の確立を目指します。

当機構の新たな活動の始動に当たり、委員会ではインバウンド観光について知見を有する佐藤文浩氏（XM株式会社代表取締役社長）をアドバイザーに招聘し、第一弾の活動として「埼玉県 秩父エリア」を対象地域に選定のうえ「秩父プロジェクト」として推進することとなりました（今後、他地域においても活動を展開していく計画です）。

本プロジェクトは、秩父市産業観光部、秩父地域おもてなし観光公社のご協力を得て、日本在住の著名インフルエンサー2名により秩父エリアのすばらしさを世界に発信しつつ、単なる魅力の訴求を超えて、地域社会との調和を念頭に“秩序ある”観光のあり方を提示してまいります（使用言語：中国語）。

本プロジェクト期間は2025年4月1日（火）から3日（木）までです。インフルエンサーはこの間、秩父市内のレトロな街中散策やイチゴ狩り体験、フォレストアドベンチャー秩父、長瀬さくら祭り、羊山公園など秩父エリア内各地を訪れます。

つきましては、関係各位の取材を通じ、私どもの取り組みを広くご周知いただきたく、下記の通りご案内申し上げます。ご多用とは存じますが何卒よろしくお願い申し上げます。

取材のご案内



記

プロジェクト期間	2025年4月1日（火）～3日（木）
※上記期間中は、秩父エリア内各地で取材を行いますので、具体的なスケジュールについては別途ご確認ください。	
※4月1日（火）11時50分に西武秩父駅前にて、ゆるキャラ「ボテくまくん」及び秩父市役所産業観光部、秩父地域おもてなし観光公社関係者によるお出迎えを行います。	
主な取材先	秩父市内のレトロな街中散策、イチゴ狩り体験、フォレストアドベンチャー秩父、長瀬さくら祭り、羊山公園

■ 招聘インフルエンサー

● 雷国悦氏 (<https://www.xiaohongshu.com/user/profile/59db0933de5fb42c49530bc7>)

中国桂林市出身のインフルエンサーで、現在は日本で活動。彼女は、中国版インスタグラム「小红书/RED」や Weibo など多くのフォロワーを持ち、日本と中国で幅広く活動しています。雷氏は、大手IT企業での勤務経験を経て、人気インフルエンサーとして活躍し、日本の文化や生活情報を中国語で発信しています。彼女はトリンガル（中国語、日本語、英語）で、特に日本の最新トレンドやヒット商品を中国人観光客に紹介することで高い評価を得ています。



● 村玉蒙氏 (<https://weibo.com/u/1660473323?fbclid>)

元中国江西テレビ局のアナウンサーであり、日本旅行情報を中心に発信している有名なインフルエンサーです。彼女は、日本の観光地や文化、食事などを中国語で紹介し、多くの中国人観光客に人気があります。特に日本の旅行情報やお店巡りを得意とし、親しみやすリアルな日本の魅力を伝えることで、多くの視聴者に支持されています。



■ 特定非営利活動法人 公共政策調査機構（略称 RIPP）について

東京都港区に事務局を置くNPO法人でシンクタンク（政策調査・研究）機能と社会開発機能（政策の実践）を兼ね備えた非営利組織です。2018年12月に設立され、2019年3月に特定非営利活動法人として認証されました。設立以来、経済アナリストの池田健三郎が理事長を務めています。公共政策に関する調査研究やその実践を通して、真にゆたかな日本をつくるための政策目標の達成に寄与し、社会の健全な発展に貢献することを目的としています。活動は、公共政策の研究及び実践や、人材育成、政策系人材の交流推進など多岐にわたります。

<https://ripp.or.jp/>

■ 秩序あるインバウンド観光推進委員会について

秩序あるインバウンド観光推進委員会は、RIPP理事会の下で個別の事業目的を達成するための実働部隊として設けられた委員会です。2025年度の特定非営利活動の一環として、活況を呈する海外インバウンド観光について、その質的向上の重要性に鑑み、日本の各観光地において、“秩序ある”インバウンド観光を推進する情報発信を通じた啓発を図り、来訪外国人の地域理解の深化および円滑な人的交流の実現を企図。インバウンド・ツーリズムの課題解決（情報不足や慣習のギャップに起因するトラブルの未然防止等）に寄与することで、円滑な国際交流と持続可能な地域社会の確立を目指します。



NEWS RELEASE
2025年3月31日

報道関係各位

特定非営利活動法人 公共政策調査機構
秩序あるインバウンド観光推進委員会

秩序あるインバウンド観光推進委員会が始動！ 第1弾は秩父エリアを舞台に、著名インフルエンサーが 持続可能な観光を世界へ発信 ～観光資源を活かし、質の高い“秩序ある”インバウンド観光を地域から推進～

特定非営利活動法人公共政策調査機構（東京都港区、理事長：池田健三郎）は、2025年度の新規活動として、「秩序あるインバウンド観光推進委員会」（以下、委員会）を立ち上げました。

本委員会は、近年急速に拡大する訪日インバウンド観光に対し、単なる受け入れ数の増加にとどまらず、その質的向上の重要性に着目しています。観光資源を有する各地域において、持続可能な“秩序ある”インバウンド観光の推進を目指し、情報発信を通じた啓発活動を行うことで、訪日外国人の地域理解を深め、円滑な人的交流の実現に貢献してまいります。これにより、オーバーツーリズムの問題や、情報不足・文化・慣習の違いなどに起因するトラブルの未然防止にも寄与することを目的としています。

委員会では、活動開始にあたり、インバウンド観光分野に知見を有する佐藤文浩氏（XM 株式会社代表取締役社長）をアドバイザーに迎え、第一弾の取り組みとして「埼玉県 秩父エリア」を対象地域に選定し、「秩父プロジェクト」として始動いたします。秩父エリアは、東京をはじめとする首都圏からのアクセスに恵まれながらも、インバウンド観光の受け入れ体制整備がこれから本格化する地域です。豊かな自然や歴史文化、地元ならではの体験コンテンツなど、多様な観光資源を有しており、今後の観光モデルの構築において大きな可能性を秘めています。

本プロジェクトでは、著名インフルエンサーとの連携を通じて、国内外に向けて秩父の魅力と持続可能な観光のあり方を発信するとともに、地域と共に歩む「秩序あるインバウンド観光」のモデルケースの確立を目指しています。

なお、今回の取り組みは、秩父市産業観光部および秩父地域おもてなし観光公社のご協力のもと、日本在住の著名インフルエンサー2名が秩父エリアの魅力在海外に向けて発信し、地域との調和を重視した“秩序あるツーリズム”のあり方を提示してまいります（発信言語：中国語）。

本プロジェクトの取材活動は、2025年4月1日（火）から4月3日（木）までの3日間で実施予定です。期間中、インフルエンサーは長瀬の桜の名所巡り、秩父市内のレトロな街並み散策、いちご狩り体験、秩父ファームステイでの農村体験など、秩父地域の多様な魅力を体験し、SNSで発信してまいります。また、取材初日に西武秩父駅に到着した際には、秩父市の公式イメージキャラクター「ポテまくん」がインフルエンサーを温かく歓迎くださる予定となっています。

プロジェクト概要

実施場所：埼玉県・秩父エリア

実施期間：2025年4月1日（火）～4月3日（木）

■取材スケジュールと主な取材先

- 1日目（4月1日）：長瀬エリアにて、長瀬の桜の名所巡り、老舗旅館「長生館」訪問
- 2日目（4月2日）：秩父市内のレトロな街並み散策、いちご狩り体験

1



3日目（4月3日）：秩父ファームステイでの農村体験

■招聘インフルエンサー

●雷 国悦氏（<https://www.xiaohongqshu.com/user/profile/59db0933de5fb42e49530bc7>）

中国桂林市出身のインフルエンサーで、現在は日本で活動。彼女は、中国版インスタグラム「小红书/RED」や Weibo など多くのフォロワーを持ち、日本と中国で幅広く活動しています。雷氏は、大手 IT 企業での勤務経験を経て、人気インフルエンサーとして活躍し、日本の文化や生活情報を中国語で発信しています。彼女はトリリンガル（中国語、日本語、英語）で、特に日本の最新トレンドやヒット商品を中国人観光客に紹介することで高い評価を得ています。



●村 玉蒙氏（<https://weibo.com/u/1660473323?fbclid>）

元中国江西テレビ局のアナウンサーであり、日本旅行情報を中心に発信している有名なインフルエンサーです。彼女は、日本の観光地や文化、食事などを中国語で紹介し、多くの中国人観光客に人気があります。特に日本の旅行情報やお店巡りを得意とし、親しみやすくリアルな日本の魅力を伝えることで、多くの視聴者に支持されています。



■特定非営利活動法人 公共政策調査機構（略称 RIPP）について

東京都港区に事務局を置く NPO 法人でシンクタンク（政策調査・研究）機能と社会開発機能（政策の実践）を兼ね備えた非営利組織です。2018年12月に設立され、2019年3月に特定非営利活動法人として認証されました。設立以来、経済アナリストの池田健三郎が理事長を務めています。公共政策に関する調査研究やその実践を通じて、真にゆたかな日本をつくるための政策目標の達成に寄与し、社会の健全な発展に貢献することを目的としています。活動は、公共政策の研究及び実践や、人材育成、政策系人材の交流推進など多岐にわたります。

<https://ripp.or.jp/>

■秩序あるインバウンド観光推進委員会 について

秩序あるインバウンド観光推進委員会は、RIPP 理事会の下で個別の事業目的を達成するための実働部隊として設けられた委員会です。2025年度の特定期間活動の一環として、状況を呈する海外インバウンド観光について、その質的向上の重要性に鑑み、日本の各観光地において、“秩序ある”インバウンド観光を推進する情報発信を通じた啓発を図り、来訪外国人の地域理解の深化および円滑な人的交流の実現を企図。インバウンド・ツーリズムの課題解決（情報不足や慣習のギャップに起因するトラブルの未然防止等）に寄与することで、円滑な国際交流と持続可能な地域社会の確立を目指します。

◆本件に関する取材・お問い合わせ◆

秩序あるインバウンド観光推進委員会 広報事務局（共同ピーアール内）担当：和田、深澤
E-mail：ripp-pr@kyodo-pr.co.jp
TEL：080-2340-8755（和込）

2



報道関係各位

NEWS RELEASE
2025年4月8日

特定非営利活動法人 公共政策調査機構
秩序あるインバウンド観光推進委員会

外国人インフルエンサーが体験した「秩父の魅力」を世界へ発信！ 秩序あるインバウンド観光推進委員会 第1弾プロジェクトが成功裏に終了 — 2025年4月1日（火）～3日（木）秩父エリアにて実施 —

特定非営利活動法人公共政策調査機構（東京都港区、理事長 池田健三郎）は、2025年の新規活動として、「秩序あるインバウンド観光推進委員会」（以下、委員会）を立ち上げました。

本委員会は、近年急速に拡大する訪日インバウンド観光に対し、単なる受け入れ数の増加にとどまらず、その質的向上の重要性に着目しています。観光資源を有する各地域において、持続可能な「インバウンド観光」の推進を目指し、情報発信を通じた啓発活動を行うことで、訪日外国人の地域理解を深め、円滑な人的交流の実現に貢献してまいります。また、オーバーツーリズムの問題や、情報不足・文化・慣習の違いなどに起因するトラブルの未然防止にも寄与することを目的としています。

その第1弾の取り組みとして、2025年4月1日（火）から3日（木）までの3日間、「秩父プロジェクト」と題し、埼玉県秩父エリアを舞台に活動を実施いたしました。秩父エリアは、東京を「北」とする首都圏からのアクセスに恵まながらも、インバウンド観光の受け入れ体制がこれから本格化する地域です。豊かな自然や歴史文化、地元ならではの体験コンテンツなど、多彩な観光資源を有しており、今後の観光モデルの構築において大きな可能性を秘めています。

本プロジェクトでは、インバウンド観光分野に豊富な知見を有する佐藤文浩氏（XM株式会社 代表取締役社長）をアドバイザーに迎え、秩父市産業観光部および秩父地域おもてなし観光公社のご協力のもと、地域内の各施設・店舗と連携しながら実施されました。



秩父市イメージキャラクター「ポテくん」と秩父市産業観光部および秩父地域おもてなし観光公社の皆様がインフルエンサーを歓迎



■取材スケジュールと主な取材先

上記の期間中、日本在住の著名な中国語圏インフルエンサー2名が秩父エリアを訪れ、秩父の魅力や SNS 等を通じて海外向けに発信するための取材活動を行いました。

1日目（4月1日）

西武秩父駅に到着後、秩父市公式イメージキャラクター「ポテくん」の歓迎を受け、和やかな雰囲気で行った取材活動をスタート。そこから秩父鉄道で長瀬エリアを訪れ、宝登山ロープウェイに乗車。夕方は老舗旅館・長生館内のレストラン「岩さくら」にて、長瀬渓谷を一望できる開放感のある空間で、名物のぼたん鍋を堪能しました。

2日目（4月2日）

午前中は「ちちぶ銘仙館」を訪問。秩父織物や銘仙に関する貴重な資料を見学し、館内の体験工房では型染め体験に挑戦しました。その後、秩父市内のトロナ街並みを散策し、スイーツ店や喫茶店を取材。午後からは「秩父フルーツアーム」でいちご狩りを体験し、様々なコンテストで最高金賞を獲得するなど主目的の埼玉県オリジナル品種「へたまま」の魅力を増強しました。夕方には人気店で「秩父ホルモン」を味わい、秩父地域の食文化の魅力を体験しました。

3日目（4月3日）

最終日は体験型観光農園「秩父ファームステイ」を訪問。オリジナルハーブオイル作りやアーモンドの殻割り体験を通して、秩父の自然の恵みに感謝しました。また、秩父地元の食材や自産産のフルーツを使用した様々な料理も楽しみました。

上記のように、秩父地域の自然、文化、食の魅力を存分に体験できた2名のインフルエンサーは、「今回の取材を通じて、秩父の豊かな自然、歴史ある街並み、人々の温かさ、そして地域に根ざした食文化の素晴らしさを知ることができた」と率直な感想を述べています。そして、「今後のSNSでの情報発信によって、秩父の多彩な魅力を国境を越えて多くの方々に届け、適切な楽しみ方を伝えることで、地域の皆さんに歓迎していただける旅行者を増やしたい！」と意欲を語っています。

当委員会は、これから行われるインフルエンサーによる発信が、多くの方々に秩父の魅力や魅力を伝えると共に、「秩序ある」個人旅行者の増加を通じて、インバウンド観光の量的拡大のみならず質的向上にも大いに寄与することを期待しています。

今回の取り組みは、わが国が抱えるインバウンド観光政策課題の一部の解決に向けた、ごく小さな第一歩かもしれませんが、当委員会では、今後も持続可能な秩序あるインバウンド観光の推進を目指し、活動を続ける所存です。

■招聘インフルエンサー

●雷 国悦氏（<https://linktr.ee/laichan>）

中国桂林市出身のインフルエンサーで、現在は日本で活動。彼女は、中国版Instagram「小红书/RED」や Weibo など多くのフォロワーを持ち、日本と中国で幅広く活動しています。雷氏は、大手 IT 企業での勤務経験を経て、人気インフルエンサーとして活躍し、日本の文化や生活情報を中国語で発信しています。彼女はトリリンガル（中国語、日本語、英語）で、特に日本の最新トレンドやヒット商品を中国人観光客に紹介することで高い評価を得ています。





●村 玉露氏 (<https://weibo.com/u/1660473323>)

元中国江西テレビ局のアナウンサーであり、日本旅行情報を中心に発信している有名なインフルエンサーです。彼女は、日本の観光地や文化、食事などを中国語で紹介し、多くの中国人観光客に人気があります。特に日本の旅行情報やお店巡りを得意とし、親しみやすくリアルな日本の魅力を伝えることで、多くの視聴者に支持されています。



■特定非営利活動法人 公共政策調査機構（略称 RIPP）について

東京都港区に事務局を置く NPO 法人でシンクタンク（政策調査・研究）機能と社会開発機能（政策の実践）を兼ね備えた非営利組織です。2018 年 12 月に設立され、2019 年 3 月に特定非営利活動法人として認証されました。設立以来、経済アナリストの池田健三郎が理事長を務めています。公共政策に関する調査研究やその実践を通じて、真にゆたかな日本をつくるための政策目標の達成に寄与し、社会の健全な発展に貢献することを目的としています。活動は、公共政策の研究及び実践や、人材育成、政策系人材の交流推進など多岐にわたります。

<https://ripp.or.jp/>

■秩序あるインバウンド観光推進委員会 について

秩序あるインバウンド観光推進委員会は、RIPP 理事会の下で個別の事業目的を達成するための実働部隊として設けられた委員会です。2025 年度の特定非営利活動の一環として、活況を呈する海外インバウンド観光について、その質的向上の重要性に鑑み、日本の各観光地において、“秩序ある”インバウンド観光を推進する情報発信を通じた啓発を図り、来訪外国人の地域理解の深化および円滑な人的交流の実現を企図。インバウンド・ツーリズムの課題解決（情報不足や慣習のギャップに起因するトラブルの未然防止等）に寄与することで、円滑な国際交流と持続可能な地域社会の確立を目指します。

◆本件に関するご取材・お問い合わせ◆

秩序あるインバウンド観光推進委員会 広報事務局（共同ビジュアル内）担当：和田、深澤

E-mail : ripp-pr@kyodo-pr.co.jp

TEL : 080-2340-8755（和田）



NEWS RELEASE
2025年4月8日

報道関係各位

特定非営利活動法人 公共政策調査機構
秩序あるインバウンド観光推進委員会

秩序あるインバウンド観光推進委員会が キャンペーン第1弾の秩父市・北郷市長を表敬訪問 ～持続可能な「秩序ある」インバウンド観光地域づくりに関する意見交換～

特定非営利活動法人公共政策調査機構（東京都港区、理事長：池田健三郎）は、2025年度の新規活動として、「秩序あるインバウンド観光推進委員会」（以下、委員会）を立ち上げ、そのキャンペーン第一弾として、4月1日から3日にかけて埼玉県秩父地域において、海外発信において著名なインフルエンサー2名による取材を実施しました。

本取材は地元秩父市の全面的な協力のもとで行われ、取材班は同地域の魅了される発信素材を豊富に獲得することができ、極めて有意義な活動を実現することができました。

ご厚意を受けて2025年4月7日（月）、委員会は秩父市役所を訪問し、北郷市長を表敬訪問いたしました。

当日は、当機構理事長 池田健三郎、理事 大淵愛子に加え、インバウンド観光分野において豊富な知見を有する委員会アドバイザー企業であるXM株式会社（代表取締役社長 佐藤文浩）の取締役 張娜、広告メディア部部长 張倩倩、総務部長 泉山優佳も同行し、秩父市の協力に心からの謝意を表するとともに、「秩序あるインバウンド観光」の推進によって持続可能な地域観光の実現を目指す取り組みや、著名インフルエンサーとの連携を通じた魅力の発信について、北郷市長と活発な意見交換を行いました。



特定非営利活動法人公共政策調査機構 理事長 池田健三郎コメント

インバウンド観光は地域経済活性化に寄与する一方で、秩序と持続可能性を両立させる仕組みづくりが求められています。当機構では「秩序あるインバウンド観光」という新たな概念を掲げ、地域と共に歩む新たなインバウンド観光モデルの確立を目指しています。今回はその活動の第一弾として、北郷市長をはじめとする秩父地域の皆さまに全面協力を頂き順調なスタート切ることができました。本日の意見交換や秩父で得られた成果を今後の取り組みに活かしてまいります。

1



XM株式会社 代表取締役社長 佐藤文浩氏コメント

インバウンド観光の現場では、いかに“体験価値”を高め、同時に地域と調和するかが鍵となっています。今回、秩父という素晴らしい地域と連携し、インフルエンサーや SNS を通じて世界に魅力を発信できる機会をいただいたことを大変光栄に思います。観光の力を、地域の未来につなげていくサポートができればと考えております。

■ 特定非営利活動法人 公共政策調査機構（略称 RIPP）について

東京都港区に事務局を置くNPO法人でシンクタンク（政策調査・研究）機能と社会開発機能（政策の実践）を兼ね備えた独立・非営利の組織です。2018年12月に設立され、2019年3月に特定非営利活動法人として認証されました。設立以来、経済アナリストの池田健三郎が理事長を務めています。公共政策に関する調査研究やその実践を通じて、真にゆたかな日本をつくるための政策目標の達成に寄与し、社会の健全な発展に貢献することを目的としています。活動は、公共政策の研究及び実践や、人材育成、政策系人材の交流推進など多岐にわたります。

<https://ripp.or.jp/>

■ 秩序あるインバウンド観光推進委員会 について

秩序あるインバウンド観光推進委員会は、RIPP理事会の下で個別の事業目的を達成するための実践組織として設けられた委員会です。2025年度の新規活動の一環として、活況を呈する海外インバウンド観光について、その質的向上の重要性に鑑み、日本の各観光地において、「秩序ある」インバウンド観光を推進する情報発信を通じた啓発を図り、来訪外国人の地域理解の深化および円滑な人的交流の実現を企図。インバウンド・ツーリズムの課題解決（情報不足や慣習のギャップに起因するトラブルの未然防止等）に寄与することで、円滑な国際交流と持続可能な地域社会の確立を目指します。

◆ 本件に関する取材・お問い合わせ ◆

秩序あるインバウンド観光推進委員会 広報事務局（共同ピーアール内）担当：和田、深澤
E-mail: ripp-pr@kyodo-pr.co.jp
TEL: 080-2340-8755（和田）

1日目 (4月1日)

雷国悦氏

中国桂林市出身のインフルエンサーで、現在は日本で活動。彼女は、中国版インスタグラム「小紅書/RED」やWeiboなどで多くのフォロワーを持ち、日本と中国で幅広く活動しています。雷氏は、大手IT企業での勤務経験を経て、人気インフルエンサーとして活躍し、日本の文化や生活情報を中国語で発信しています。彼女はトリリンガル（中国語、日本語、英語）で、特に日本の最新トレンドやヒット商品を中国人観光客に紹介することで高い評価を得ています。



付玉蒙氏

元中国江西テレビ局のアナウンサーであり、日本旅行情報を中心に発信している有名なインフルエンサーです。彼女は、日本の観光地や文化、食事などを中国語で紹介し、多くの中国人観光客に人気があります。特に日本の旅行情報やお店巡りを得意とし、親しみやすくリアルな日本の魅力を伝えることで、多くの視聴者に支持されています。



1日目 (4月1日)



西武池袋駅および特急ラビュー車内でのインフルエンサーの様子



秩父市イメージキャラクター「ポテくまくん」と秩父市産業観光部および秩父地域おもてなし観光公社の皆様がインフルエンサーを歓迎



読売新聞・飯村記者の取材を受ける
雷国悦氏



「名物 秩父そば 立花」にて、秩父市産業観光部とインフルエンサー
が懇談



宝登山ロープウェイにて秩父の自然を満喫するインフルエンサー



長瀬温泉 花のおもてなし 長生館にて、秩父の伝統料理である猪肉の懐石やばたん鍋を取
材

2日目 (4月2日)



秩父の伝統織物『銘仙』を、ちちぶ銘仙館で体験・取材



秩父の芋菓子専門店『芋うらら』
を取材



お食事処『秩父豚味噌丼 新世界』にて、秩父名物『豚みそ
丼』を取材・堪能



秩父ファームにて、旬のいちご狩り取材・体験



秩父ファームにて、旬のいちご狩り取材・体験



珈琲 千茶古にて、地元のちちぶコーヒーを取材・堪能

2日目 (4月2日)



西武秩父駅『働空間』を取材。だんござかホルモンでは、秩父名物ホルモンを取材

3日目（4月3日）

3日目 (4月3日)



西武秩父駅にある『秩父観光情報館』にて、秩父の観光情報を取材。また、併設の『秩父サイクルステーション』も見学

3日目 (4月3日)



体験型観光農園 『秩父ファームステイ』で、自然の恵みに触れる体験



体験型観光農園 『秩父ファームステイ』を訪問。オリジナルハーブオイル作りやアーモンドの殻割り体験



体験型観光農園『秩父ファームステイ』で、自然の恵みに触れる体験



体験型観光農園『秩父ファームステイ』を訪問。オリジナルハーブオイル作りを体験

秩父市・北堀市長を表敬訪問（4月7日）

秩父市・北堀市長を表敬訪問（4月7日）



秩父市・北堀市長を表敬訪問の様子

露出結果





今回の取材を通じて、秩父地域の自然・文化・食の魅力を存分に体験した中国語圏インフルエンサー2名からは、「秩父の豊かな自然、歴史ある街並み、人々の温かさ、そして地域に根ざした食文化の素晴らしさを知ることができました」との率直な感想が寄せられました。加えて、「今後のSNS発信を通じて、秩父の多彩な魅力を国境を越えて広く伝え、地域に歓迎される旅行者を増やしたい」という前向きな想いを語っていただきました。

当委員会といたしましては、インフルエンサーによる今後の情報発信が、秩父の魅力を国内外に広く伝えるとともに、マナーを守った「秩序ある」個人旅行者の増加につながり、インバウンド観光の量的拡大にとどまらず、質的な向上にも大きく貢献するものと期待しております。

今回の取り組みは、わが国が抱えるインバウンド観光政策課題の一部の解決に向けた、ごく小さな第一歩かもしれませんが、当委員会では、今後も持続可能で秩序あるインバウンド観光の推進を目指し、活動を続ける所存です。